

感謝100周年

邦寿会

since 1921

2020年度 事業報告

コロナ対応

1. 職員の健康管理

- ご入居者への最大の感染リスクとなる職員からの感染防止に努め、毎日の検温記録、手洗い等の基本行動を周知し、朝礼にて施設長から情報共有と注意喚起を実施。
- 施設にも、PCR検査キットを常備し、行政検査を受けられない場合に使用。
- 自治体が実施しているPCR検査は、対象全職員が毎回受検。

2. 施設内外の対策

- 施設内での感染対策文書を周知し、陽性者発生時の訓練も実施。
- 万が一、陽性者が出た場合に備え、施設内で濃厚接触者を発生させない対策を実施。
- ご家族面会は、PC・スマホを利用したリモート面会を案内。感染が少ない時期のみ、予約制にて、面会者の体調確認の上、専用スペースで飛沫感染防止シート越しの面会を実施。（地域の感染状況拡大に伴い、飛沫防止シート越しの面会も中止中）
- ボランティアは、継続して受け入れを中止。（一部、ボランティアの演奏や演芸を、動画撮影して、各ユニット内で楽しんでいただく試みは実施）
- 外部業者は、設備修理等、必要性・緊急性の高い案件のみ館内立ち入りを認可。但し、入館時の健康チェックは徹底実施し、必要最小限の範囲にて作業。
- デイサービスは、密を避け定員の約60%で運営中。
- ヘルパーとご利用者間の双方向感染を防止するため、訪問前～訪問時～退出・記録までの手順を文書化し周知。

以上は高齢者施設での主な対応事例ですが、

- 旭区西部地域包括支援センターでも、一般的な対策に加え、職員の訪問先での感染防止や、万が一陽性者が発生した時に備え、センター業務の停止（閉鎖）することが無いよう、日別シフト勤務も行いました。
- つばみ保育園でも、健康管理、検温、手洗い、手指消毒の徹底継続は園児にも定着し、保護者の皆さんには施設内立ち入り制限やイベントでの対策に協力を頂いています。

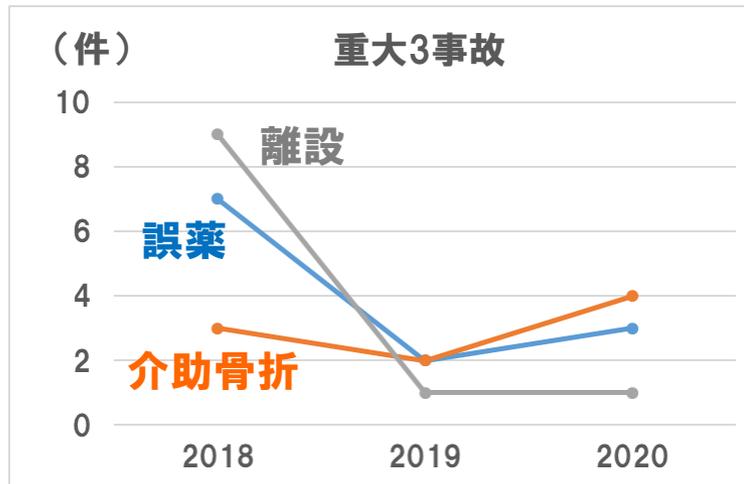
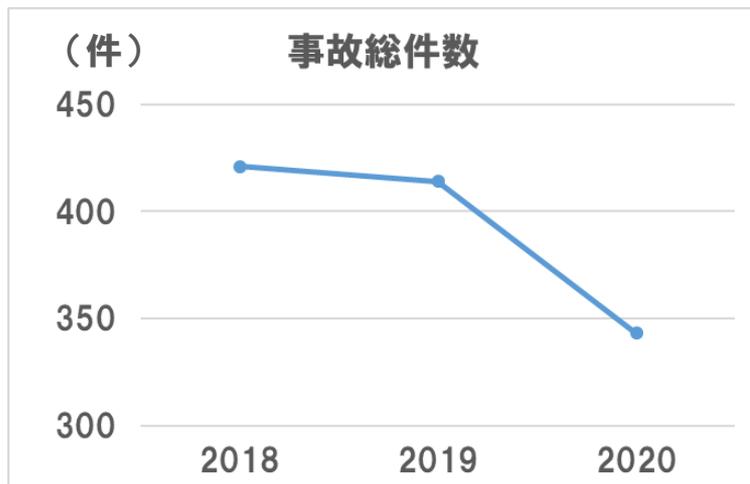
どうみょうじ高殿苑の経営安定化

- ・増収・支出削減案を洗い出し、優先順位付けをした。
- ・2021年度は、改善目標約15百万円を実現する。

順位	項目	増収額	削減額	収益効果	達成期間	実現可能性	地域貢献度	利用者満足度	合計点数	2021年度実施
1	介護度の適正化(特定)	3,829		3	3	3	1	1	11	3,829
2	特定事業所加算Ⅰ(ヘルパー)	3,025		3	3	3	1	1	11	3,025
3	障害者雇用調整金の按分		2,700	3	3	3	1	1	11	
4	特定事業所加算Ⅱ(プラン)	2,451		3	3	3	1	1	11	2,451
5	看護体制加算Ⅲ・Ⅳ(ショート)	2,046		3	3	3	1	1	11	2,046
6	認知症加算(デイ)	1,209		3	2	3	1	2	11	1,209
7	お粥ユニット調理化による経費削減		432	2	3	3	1	2	11	432
8	認知症専門ケア加算Ⅰ(特養)	317		2	3	3	1	2	11	317
9	認知症専門ケア加算Ⅰ(ショート)	267		2	3	3	1	2	11	267
10	高殿苑の加算取得アドバイザーの派遣		983	2	1	3	2	2	10	
11	新人職員の夜勤開始時期の見直し		599	2	2	3	1	2	10	599
12	口腔衛生管理体制加算(特定)	74		1	3	3	1	2	10	74
13	フロートガーデンの撤去		515	2	3	3	1	1	10	515
14	間接部門の効率化		495	2	3	3	1	1	10	495
15	観葉植物の撤去		359	2	3	3	1	1	10	359
16	ショートステイ事業の開始(特定)			2	1	3	1	2	9	
17	機関誌の外部発注		44	1	3	3	1	1	9	44
18	電子印鑑の導入		13	1	3	3	1	1	9	13
19	人件費の適正化(作業分析)		436	2	2	3	1	1	9	
20	助成金活用による職員紹介手数料の負担緩和		120	2	2	2	1	1	8	120
21	特定事業所加算Ⅰ(プラン)	5,602		3	1	1	1	1	7	
22	夜勤者増員による宿直廃止		1,533	3	1	1	1	1	7	
23	間接部門業務の効率化		495	2	1	2	1	1	7	
24	厨房常勤職員の勤務時間の見直し		199	2	1	2	1	1	7	
25	口腔機能向上加算(デイ)	37		1	1	1	1	2	6	
26	認知症専門ケア加算(特定)	22		1	1	1	1	2	6	
27	排せつ加算(特養)	37		1	1	1	1	1	5	
合計		18,916	8,922							
総計			27,838							15,794

重大事故ゼロ化

- 事故総件数は約70件減少しましたが、重大事故の誤薬と介助骨折を各1件増加させてしまいました。事故の発生原因と対策について、高殿苑とどうみょうじ高殿苑の合同事故会議において両施設関係者が継続的に意見交換をしています。根本原因の究明や再発防止の仕組み作りにより、重大事故の防止に努めて参ります。



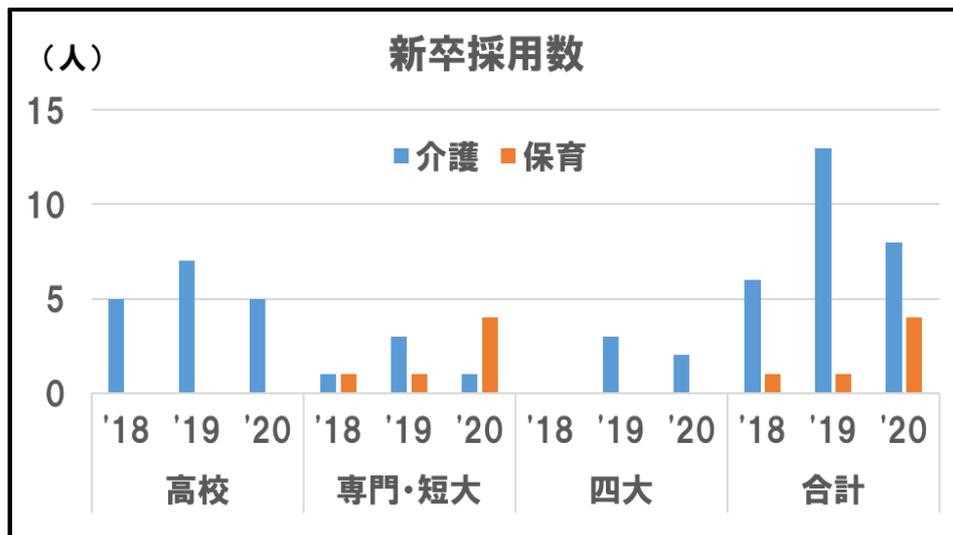
介護力・保育力のアップ

- コロナに対応し通信教育やインターネット活用し、施設内での伝達研修も行いました。
- 良い介護・不適切な介護事例について無記名アンケートを実施。良い事例が非常に多く出されたものの、改めるべき事例もありました。結果をリーダー以上の会議や各ユニットでも議論し、良い事例を見習う声や、不適切な事例には何故そうなったかを考える、その場で注意し合うなど、現場に反映させていくための意見が多く出ました。
- 育児担当制モデル園に向けた保育スキル向上は目標を達成。更に特別支援児童保育についても、専門機関による教育研修を実施し、昨年度より2名多い5名を受け入れ、地域や行政から評価を得ました。

新卒採用と育成

1. 採用活動

- ・2020年度の採用活動は、介護士8名・保育士4名を内定し、全員がコロナ感染防止に努め無事入職しました。
- ・コロナ禍にて、インターンシップを受入れできず、施設見学も外観のみ等の制約がある中、感染防止をしつつ福祉イベントに積極的参加。多くの学生にアプローチできた。
- ・日頃の活動と新卒者の高定着率を、各学校から継続評価して頂けるように努めます。



学校	高校			専門・短大			四大			合計		
年度	'18	'19	'20	'18	'19	'20	'18	'19	'20	'18	'19	'20
介護	5	7	5	1	3	1	0	3	2	6	13	8
保育				1	1	4				1	1	4
計	5	7	5	2	4	5	0	3	2	7	14	12

2. 育成

- ・コーチャー制度が定着して、コーチャーへの事前研修やマンツーマンの現場教育、毎月のスキル評価と振返りを関係者で共有し、半年研修による施設を超えた新人同士の情報共有やフォローアップも行って育成に努めています。
- ・入職1年以内の退職者が1名でしたが、引き続きやりがいを感じて定着してもらうように努めます。

活動指標

方針項目	指標	2018	2019	2020		振返り	
		実績	実績	計画	実績		評価
理念実現と安定経営の実現							
収入予算の達成	収入(百万円)	1,680	1,702	1,769	1,644	△	コロナ影響で利用者減。新規利用条件設定、3密防止等による。
事業利益予算の達成	事業利益(百万円)	9	-40	5	-179	×	〃
各部門稼働率の向上 (特養+短期)	高殿苑 稼働率(%)	97.6	97.3	98.5	95	△	〃
	どうみょうじ 稼働率(%)	98.1	98.2	93.9	85	△	〃
経理・人事システム刷新	削減時間(hr/年)	—	3システム導入	700	616	△	給与明細書作成と超勤集計で計画以上の削減進むも、クロノスデータ取込業務増により未達。
経理体制の確立	納期	—	進捗60%	'20.9	'20.9	○	
人材の育成と確保							
介護力、保育力アップ への取組推進	介護スキル評価(点)	666	687	700	688	△	コロナで研修進まず。スキル評価の仕方理解不足もあり。
	ノリフト習得部門数	0	2	3	4	○	
	保育スキル(点)	75	85	90	90	○	
研修の充実	研修回数(回)	489	568	709	332	×	コロナで研修参加、開催できず
人材確保と定着	新卒採用人数(人)	7	14	9	12	○	継続採用の活動と低い離職実績による
	離職率(%)	18.1	15.4	12.5	13.5	△	どうみょうじショートへの対応等で一定の効果有り。
利用者確保・利用者満足の実現							
安心・安全の実現	重大事故件数(件)	10	5	2	6	×	
	事故総件数(件)	421	413	370	308	○	
利用者満足の定期測定	測定実施部門数	0	8	10	10	○	
『何かあれば邦寿会へ』という信頼を得る							
包括Cの満点評価	包括C行政評価(点)	20/20	6月 発表予定	10/10	10/10	○	次期受託決定

(評価) ○:100%達成、△:99~80%達成、×:79%以下

2020年度 高殿苑 事業報告

2020年度は、①技術・技能の向上 ②ご利用者・職員の満足度の向上 ③重大介護事故の削減 ④収益性の確保の4つの重点課題に取り組みました。

- ①「技術・技能の向上」では、介護スキルアップのためのスキルチェックを、今年度からは特養・ショートに加え、デイ・ヘルパーにも拡大実施しました。13分野計175項目(各0～5点評価)のチェックで、各項目4点、合計700点が目標でした。結果、合計688点となり目標は未達成ながら毎年レベルアップはできています。しっかり集計し振り返ることで、ユニット毎、個人毎に前年比較ができ、それぞれの弱みも明確になるためスキルアップに効果的に寄与しています。外部研修参加はコロナ影響で減少する中、WEB研修参加に積極的に取り組み、研修受講後は、その内容を他の職員に伝承する様にしています。成果事例発表会も継続実施しており、各ユニットの事例共有もできています。
- ②「ご利用者・職員の満足度の向上」については、コロナ感染防止ため例年実施していた活動が大幅に制限される中、夏祭りや長寿お祝い会をはじめとする多くの季節感のある行事を職員手作りの屋内開催型に変更し、非日常を演出して、ご利用者に楽しんで頂けたと思います。また、高殿苑通信の発行やホームページの更新など、できる活動は着実に実行することができました。
- ③「重大介護事故の削減」に関しては、事故総件数は79%にまで削減出来ておりますが、重大事故ゼロは達成できませんでした(4件発生)。原因究明し再発防止に努めて参ります。
- ④「収益性の確保」では、収入は約67百万円未達成(予比93%)となりました。コロナ感染予防に伴うご利用者減による収入減は75百万円でした(補助金で8百万円補填)。感染防止策実施(密を避けるため定員以下運用等)の影響であり、安全優先のためにはやむを得なかったと考えております。

2021年は、新型コロナウイルスへの感染防止に最大注力しながら、

- ①重大介護事故の削減 ②技術・技能の向上 ③ご利用者・職員の満足度の向上
- の3つの重点課題毎に活動項目と目標を設定して取り組んでおります。

2020年度 どうみょうじ高殿苑事業報告

2020年度は、①ご利用者満足の実現 ②重大事故ゼロ ③経営安定化 ④離職防止の4つの重点項目に取り組みました。

- ①「ご利用者満足の実現」のため、当初予定していなかった居宅部門も含めてご利用者アンケートを実施し、多くのご意見をお聞きすることができました。結果は、カンファレンス時にご家族にフィードバックするとともにホームページでも公開しました。
- ②「重大事故ゼロ」は達成できませんでした(4件発生)。伝達すべき事項の見落としや、器具類の取扱説明書の未掲示等、業務改善により解決可能なものであり、すぐに対応しました。
- ③「経営安定化」のため各部署で高い稼働率を目指しました。特養は97%と目標水準で推移しましたが、ショートはコロナ影響で新規受け入れができず、また職員不足の影響もあり稼働率は67%に留まりました。グループホームは稼働率100%を続けています。ケアハウスはご利用者の入院に伴い94%と僅かに目標に届きませんでした。デイサービスは密を避けてご利用者人数を抑えたため稼働率59%となりましたが、地域では感染者発生した施設が多くある中、感染防止は徹底できました。ヘルパーはサービス提供時間は目標比97%となりましたが、身体介護時間を増やしたため収入は増加(予比110%・前比112%)しました。感染リスクのある訪問介護での収入増は評価できると思います。ケアプランは職員1名減により全体では未達成ですが、在籍1人あたりのプラン件数は予算達成しました。
上記の結果、施設トータルの収入は、予算を70百万円下回り(予比89%)ました。なお、収入減の内、コロナ影響の収入減は61百万円でした。(7百万円は補助金で補填)
- ④「離職防止」は、全体12名(前年19名)。課題のショートでは3名(前年11名)と減少できました。

2021年は、以下の3項目の重点方針を掲げ、新しい施設長の下活動を開始しています。

- ①ご利用者満足の実現(コロナ感染対策・重大事故の発生防止・ご利用者アンケート調査)
- ②経営の安定(どうみょうじ経営安定化プロジェクト)
- ③職員育成と離職防止(研修勉強会の計画・個別習得スキルチェック・職員アンケート)

2020年度 旭区西部包括支援センター事業報告

2020年度は包括支援センター運営受託法人の更新年でした。

邦寿会では、大阪市の一般公募に応募し、当初の目標通り2021年度から6年間の包括運営受託が決定しました。

大阪市からは受託開始後より、地域包括ケア構築の為の旗振り役を担い、中核的な役割機関として活動をしてきました。今後ますます高齢者が増加し、複合化、複雑化した課題を抱える高齢者に対する支援、対応を行っていくことが重要になることから、これまでの取り組みを踏まえつつ、2025(令和7)年、更には2040(令和22)年を見据えて、地域包括ケアシステムを推進していく必要があります。期待をされています。

次年度以降も、法人理念に沿ったかたちで「元気・笑顔・安心のあふれる地域づくりに取り組む」をモットーに事業運営に取り組んで参ります。

2021年の西部包括支援センターの方針は、「地域包括ケアシステムの推進に向けて『元気・笑顔・安心』のあふれる地域づくりに取り組む」です。

1. 「地域ケア会議の充実」に関しては3つのテーマ。
 2. 「元気・笑顔・安心のあふれる地域づくりに取り組む」に関しては7つのテーマ。
- を掲げ、方針実現に取り組んで参ります。

2020年度 つばみ保育園事業報告

2020年の重点方針、①育児担当制のモデル園になる。②豊かな感性を育むつばみオリジナル教育メソッドを実践する。③こどもの食事に特化した保育施設になる。④地域子育て支援活動を拡充する。⑤職員の定着とキャリアアップを支援する。の5項目に取り組みました。

①「育児担当制モデル園になる」

育児担当制モデル園になるべく保育スキル向上に努め、スキルチェックでは前年を大きく上回る成績(90点←78点)を上げることができました。コロナ禍の研修は、保育実践ビデオ研修を積極的に導入し、全職員共通理解の下、こどもの主体性を育てる保育を学ぶことができています。

②「“豊かな感性を育む” つばみオリジナル教育メソッドを実現する」

豊かな感性を育むため、木育や安全教育にも新たに取り組みました。特に、コロナ禍にあっても、子ども達が楽しいと思えることや、保護者に子ども達の成長を感じて頂ける行事については、安易に中止することなく、衛生管理を徹底し、工夫して実施してきたことは、非常に苦労はしましたが、感動も大きかった活動です。

③「こどもの食事に特化した保育施設になる」

昼食は、感染予防を徹底し、安心できる形式での食事提供を、職員協力の下実施できました。地域参加型イベントはできませんでしたが、感染症予防を徹底した食育(座学やお買い物物体験ツアー)を実施しました。

④「地域子育て支援活動を拡充する」

子育てサークルは、規模を縮小したものの、参加者には子育ての楽しさを実感して頂き、リピーターも増えました。入園希望にも繋がっています。

⑤「職員の定着とキャリアアップを支援する」

休暇が取り易い人員配置への取り組みは成果がありました。職員定着に繋がると期待します。コロナ影響で職員の外部研修参加等はできませんでしたので、本年は実施方法を工夫します。

2021年度もコロナ影響を受けるとは思いますが、その中で、つばみ保育園の保育方針の原点である“ひとりひとりの子どもを大切に”ことを念頭にご利用者より選ばれる保育園を目指します。

感謝100周年

邦寿会

since 1921

2020年度 決算案・計算書類

2020年度 邦寿会 経営成績

1. 2020年度の法人計の事業利益は、-179百万円(予算差-178百万円)と3年連続の赤字となり、経常利益も-107百万円(予算差-171百万円)と非常に厳しい赤字決算となりました。
2. 経営成績の悪化は、高齢者施設の収入減(予算差-137百万円)が主要因です。
新型コロナウイルスの施設内での感染者を発生させないため、デイサービスではご利用者の密を避けるため、受け入れ人数を予算の約7割に制限する等、各種対策を実施しました。
その結果、ご利用者の施設内感染は防ぐことはできましたが、高齢者施設2施設の収入は、高殿苑(予比93%・予算差-67百万円)・どうみょうじ高殿苑(予比89%・予算差-70百万円)となりました。
西部包括では勤務体制の変更(2班編成の交代勤務とし全員同時感染防止)等を実施。つぼみ保育園でも、保護者の在宅勤務に伴う在宅保育への協力依頼やブッフエスタイル昼食の変更等、多くの対策を実施しましたが、収入面での大きな影響は受けておりません。
3. また、人件費は予比105%(予算差+63百万円)となり事業利益悪化に繋がりました。要因は、新型コロナウイルス未感染でも疑いある職員には早期に自宅待機を命じ、特別休暇(有給)としたこと(法令通りの扱い)。昨年までと比べ退職者を減らせたことで、給与・賞与の増加に繋がったこと。感染リスクがある採用面接の実施ができず、退職者の欠員補充を負担費用が大きい派遣職員でカバーせざるを得なかったこと。給与規定改定に伴う支払い増分を、(収入減のため)処遇改善収入で補填できなかったこと。等が挙げられます。
4. 資金収支は、-81百万円となり予算から144百万円下回りました。
これは、上記の収入減により事業活動収支が減少したことに加え、手元資金より64百万円の借入金期日前返済を実行(2020年4月)したことが要因です。

2020年度 邦寿会 損益計算書

(単位:百万円/%)

科目	2020年度				
	予算	実績	予算比	前年比	
収 入	1,769	1,644	93	97	
運 営 費	人 件 費	1,214	1,277	105	106
	事 業 費	161	163	101	107
	事 務 費	94	84	89	92
	水道光熱費	72	66	92	96
	修 繕 費	10	16	155	102
	減価償却費	219	217	99	102
計	1,770	1,822	103	105	
事業利益	-1	-179	(-178)	(-139)	
支払利息	7	7	100	79	
その他収支	2	-0	(-2)	(-3)	
経常利益(寄付金除)	-6	-186	(-179)	(-140)	
寄 付 金	70	78	111	111	
経常利益(寄付金含)	64	-107	(-171)	(-132)	

※()は、予算差異・前年差異

2020年度 邦寿会 資金収支計算書

(単位:百万円/%)

科目		2020年度			
		予算	実績	予算比	前年比
収入		1,769	1,644	93	97
支出	人件費	1,213	1,266	104	106
	事業費	161	163	101	107
	事務費	94	84	89	92
	水道光熱費	72	66	92	96
	修繕費	10	16	155	102
計		1,551	1,595	103	105
事業活動収支		219	48	22	27
設備投資		65	43	66	70
借入金返済支出		164	164	100	49
	(借入元金償還)	157	157	100	49
	(支払利息)	7	7	100	79
その他収支		2	-2	(-4)	(-5)
資金収支(寄附金抜)		-8	-160	(-152)	(+51)
寄付金収入		70	78	111	111
火災復旧収支		0	0	-	(+21)
当期資金収支		62	-81	(-144)	(+81)

※()は、予算差異・前年差異

以上